

タカラスタANDARD株式会社

2025年3月期 中間期

決算説明資料

2024年11月6日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

1. 2025年3月期 中間期 決算概要 P. 2 ~ 13

2. 足元の事業環境と今後の見通し P. 15 ~ 17

3. トピックス P. 19 ~ 21

2024年4-9月
決算概要

売上高は新築集合向けが牽引し、中間期の過去最高を更新。
営業利益は二桁の伸びとなり、増収増益。

【売上高】

1,159億円
前期比 +1.1%

リフォーム向けは、価格改定に伴う駆け込み需要があった前期と比べ減少したものの、新築集合向けが各製品部門とも好調に推移したことにより増収となった。

【営業利益】

59億円
前期比 +12.3%

在庫削減などの合理化・コストダウンを実施したことや価格改定により増益となった。

【中間純利益】

38億円
前期比 Δ 12.3%

前年度に投資有価証券の売却益 11億円を計上していたため、当期は減益となった。

売上高・営業利益は増収増益。

上期の業績予想に対し、売上高はほぼ計画通りに進捗したものの、
営業利益は比較的利益率の高いリフォーム市場向けが伸び悩んだため未達となった。

(単位:億円)

	2023年4-9月		2024年4-9月				2024年4-9月 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	達成率
売上高	1,146	100.0%	1,159	100.0%	+12	+1.1%	1,166	99.4%
売上総利益	384	33.5%	396	34.2%	+12	+3.2%	—	—
販売費及び 一般管理費	331	28.9%	336	29.1%	+5	+1.7%	—	—
営業利益	53	4.6%	59	5.1%	+6	+12.3%	64	93.1%
経常利益	54	4.8%	61	5.3%	+6	+11.6%	65	94.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	44	3.9%	38	3.3%	△5	△12.3%	42	92.5%

経営成績(四半期別対比)

Takara standard

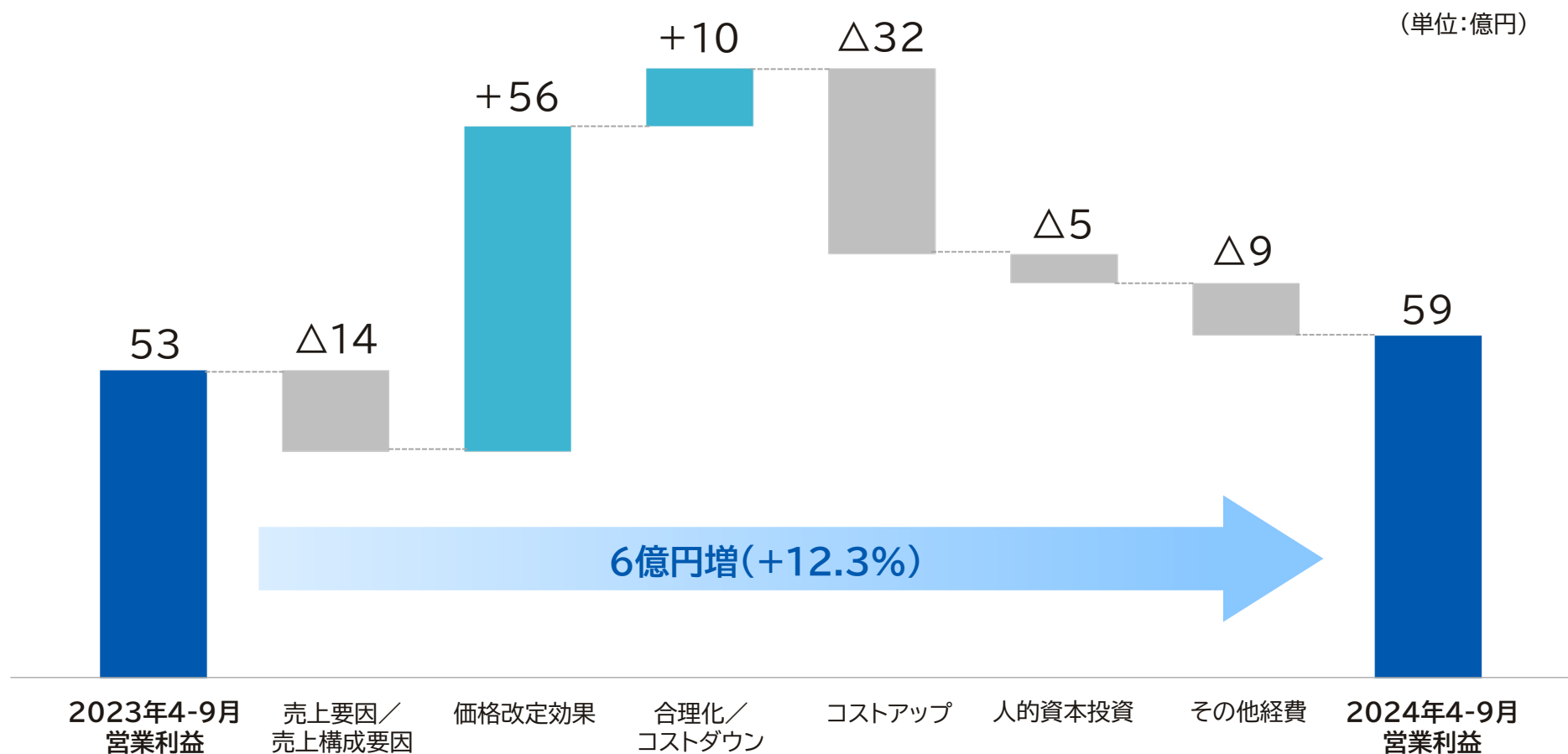
(単位:億円)

	2023年				2024年							
	第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	売上比	増減	増減率
売上高	572	100.0%	574	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%
売上総利益	190	33.3%	193	33.7%	197	34.5%	+6	+3.6%	198	33.9%	+5	+2.7%
販売費及び 一般管理費	164	28.7%	167	29.1%	166	29.1%	+2	+1.7%	170	29.0%	+2	+1.7%
営業利益	26	4.7%	26	4.6%	30	5.4%	+4	+15.4%	28	4.9%	+2	+9.0%
経常利益	28	5.0%	26	4.6%	32	5.7%	+4	+14.2%	28	4.9%	+2	+8.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	19	3.4%	25	4.4%	20	3.6%	+1	+7.7%	18	3.1%	△6	△27.7%

営業利益の増減要因

Takara standard

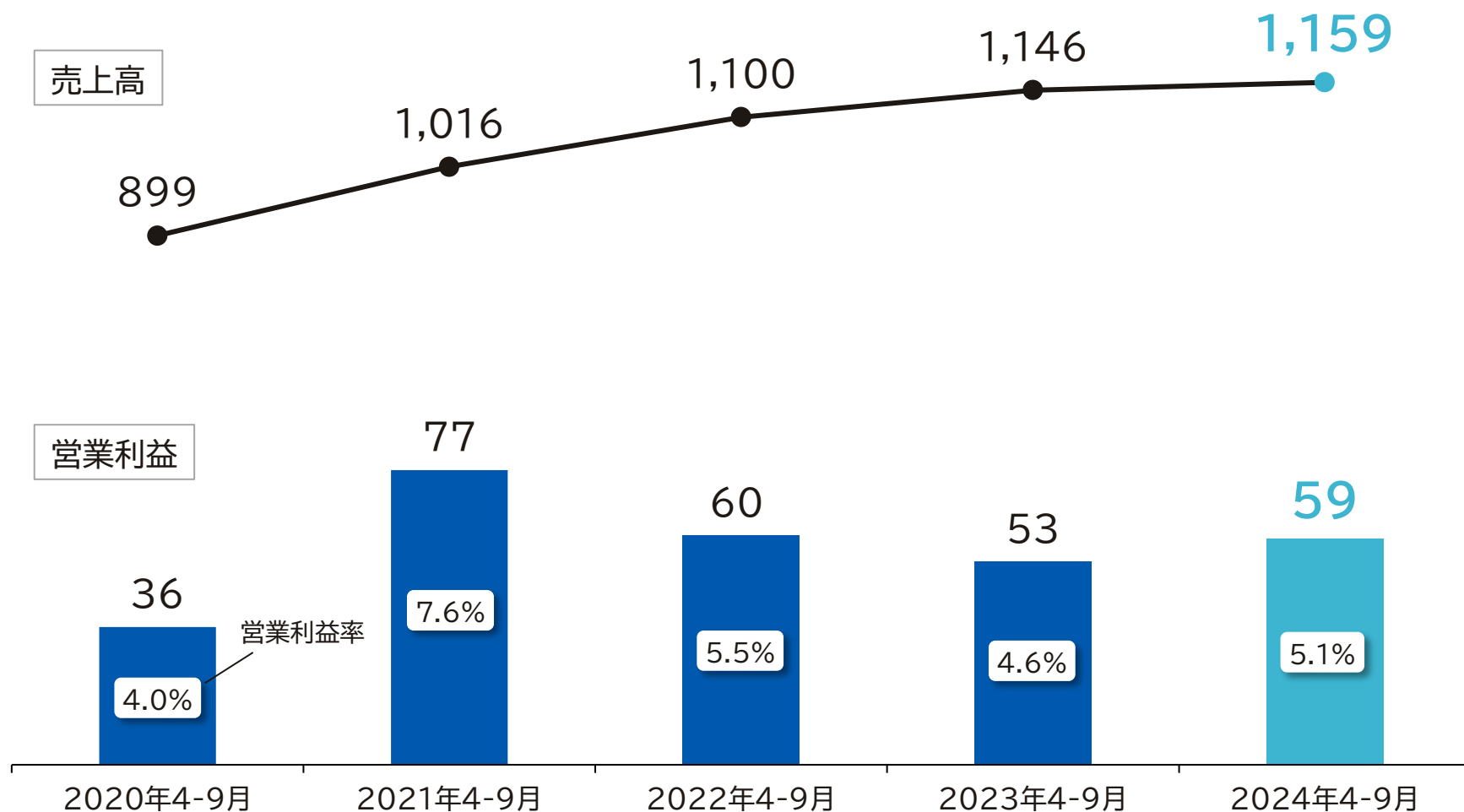
リフォーム売上の減少や原材料仕入などのコストアップによる減益要因があったものの、2023年度実施の価格改定効果が当期にも寄与し、また新築集合住宅向け売上の増加および在庫圧縮など合理化・コストダウンを実施したことにより、利益が増加した。



売上高 及び 営業利益の推移

Takara standard

(単位:億円)

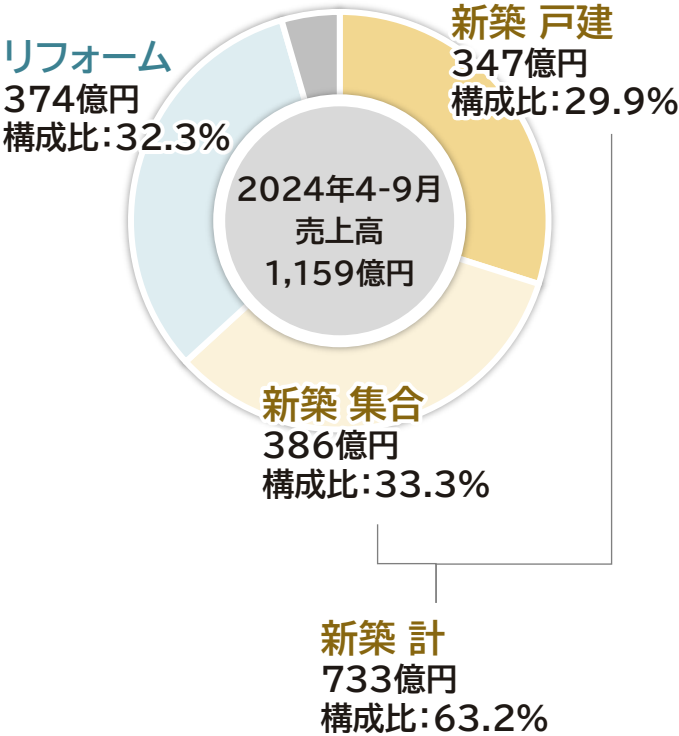


※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2020年4-9月は遡って適用した数値となっております。

リフォーム市場向けは前期の価格改定に伴う駆け込み需要の反動により前期を下回ったものの、新築市場向けが主に集合住宅向けで好調に推移したことにより、合計でも増収となった。

(単位:億円)

		2023年4-9月		2024年4-9月			
		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	343	29.9%	347	29.9%	+3	+1.0%
	集合	344	30.0%	386	33.3%	+42	+12.3%
	計	687	59.9%	733	63.2%	+45	+6.6%
リフォーム		406	35.5%	374	32.3%	△32	△8.0%
その他共 計		1,146	100.0%	1,159	100.0%	+12	+1.1%



市場別の売上高(四半期別対比)

Takara standard

(単位:億円)

		2023年				2024年							
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	174	30.6%	168	29.3%	171	29.9%	△4	△2.3%	176	30.0%	+7	+4.4%
	集合	157	27.5%	186	32.5%	182	31.8%	+25	+15.9%	203	34.8%	+17	+9.2%
	計	332	58.0%	355	61.8%	353	61.6%	+21	+6.3%	379	64.8%	+24	+6.9%
リフォーム		214	37.4%	192	33.6%	194	33.9%	△19	△9.2%	179	30.7%	△13	△6.7%
その他共 計		572	100.0%	574	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%

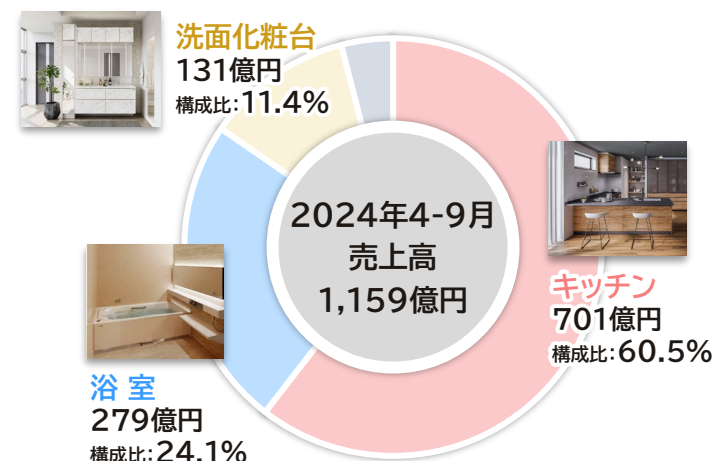
各製品部門とも、リフォーム向けは前期を下回ったものの、キッチン・洗面化粧台は、新築市場でシェアの高い集合住宅向けが好調に推移したことにより増収となった。

(単位:億円)

	2023年4-9月		2024年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	680	59.3%	701	60.5%	+21	+3.1%
浴室	285	24.9%	279	24.1%	△5	△2.0%
洗面化粧台	129	11.3%	131	11.4%	+2	+1.6%
その他共 計	1,146	100.0%	1,159	100.0%	+12	+1.1%

【内数】

パネル関連売上	34	3.0%	33	2.9%	△1	△3.5%
海外事業売上	5	0.5%	5	0.5%	△0	△2.4%



製品部門別の売上高(四半期別対比)

Takara standard

(単位:億円)

	2023年				2024年							
	第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第1四半期 (4-6月)				第2四半期 (7-9月)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	340	59.6%	339	59.1%	342	59.7%	+1	+0.4%	359	61.3%	+19	+5.8%
浴室	143	25.0%	142	24.7%	142	24.9%	△0	△0.3%	136	23.3%	△5	△3.7%
洗面化粧台	62	11.0%	67	11.7%	64	11.3%	+1	+3.1%	67	11.5%	+0	+0.3%
その他共 計	572	100.0%	574	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%

【内数】

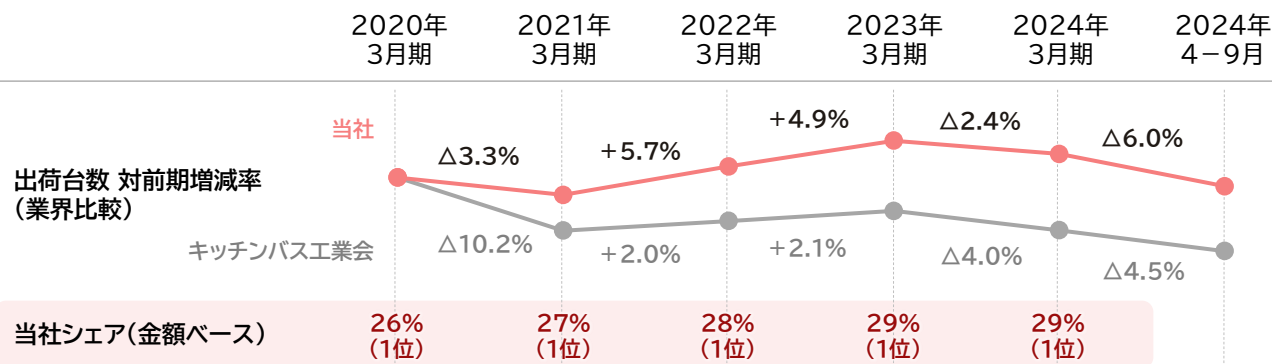
パネル関連売上	17	3.1%	17	3.0%	16	2.9%	△1	△7.3%	17	2.9%	+0	+0.3%
海外事業売上	3	0.6%	2	0.5%	2	0.5%	△0	△17.4%	3	0.5%	+0	+15.9%

出荷台数増減率 及び 当社シェアの推移

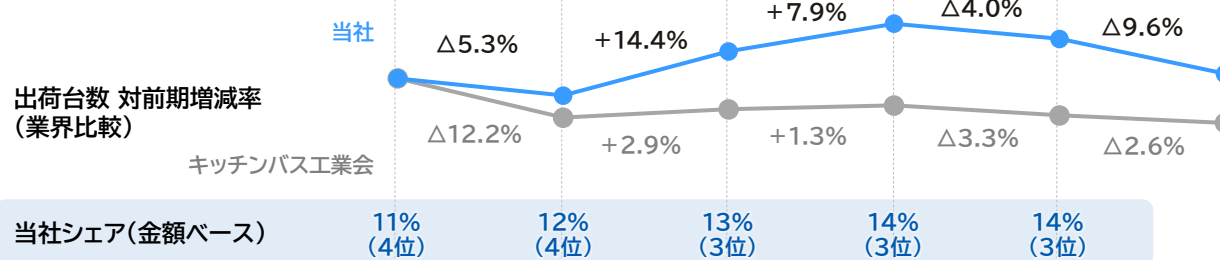
Takara standard

出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)に対し、足元は前期の駆け込み需要の影響によりやや低調に推移。

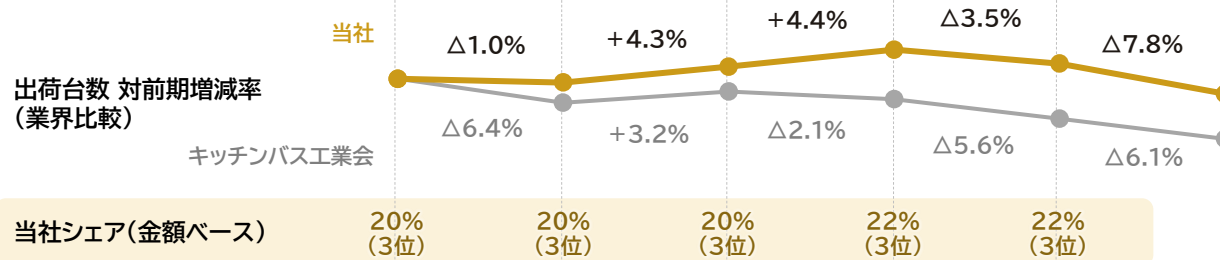
システムキッチン



システムバス



洗面化粧台



※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載
※業界シェアは当社調べ

貸借対照表

2024年9月末の総資産は 2,717億円、前期末比 30億円の増加。

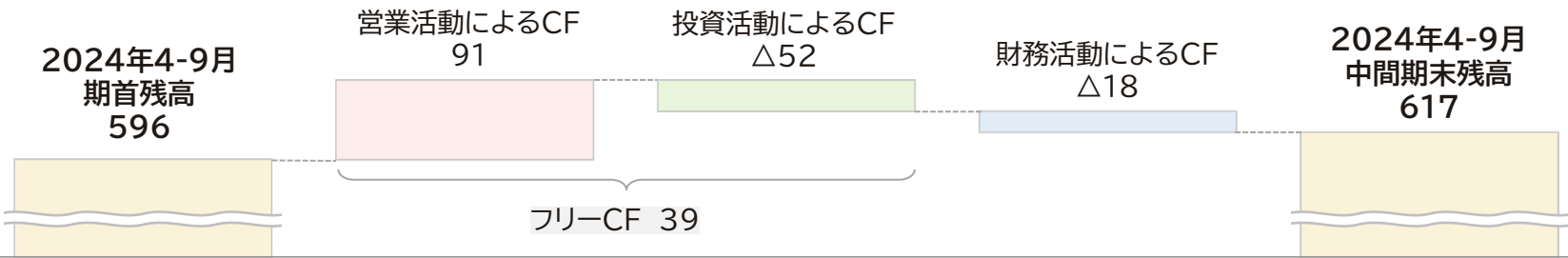
(単位:億円)

		2024年 3月末	2024年 9月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,549	1,570	+21	現金及び預金 +21 売上債権 +3 棚卸資産 △14
	固定資産	1,137	1,146	+9	有形固定資産 +12
資産合計		2,686	2,717	+30	
負債	流動負債	612	620	+7	仕入債務 +24 未払法人税等 △9
	固定負債	200	201	+1	
負債合計		812	821	+8	
純資産		1,873	1,896	+22	中間純利益 +38 剰余金の配当 △18 その他包括利益累計額 +2
負債純資産合計		2,686	2,717	+30	

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の中間期末残高は、期首596億円から21億円増加し、617億円となった。

(単位:億円)



	2023年 4-9月	2024年 4-9月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	803	596	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114	91	税金等調整前中間純利益 56 棚卸資産の減少 14 仕入債務の増加 30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△52	有形固定資産の取得による支出 △53
フリーキャッシュ・フロー	△136	39	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46	△18	配当金の支払額 △18
現金及び現金同等物の中間期末残高	620	617	

1. 2025年3月期 中間期 決算概要 P. 2 ~ 13

2. 足元の事業環境と今後の見通し P. 15 ~ 17

3. トピックス P. 19 ~ 21

国内経済

個人消費に持ち直しの動きがみられるとともに、堅調な設備投資やインバウンド需要の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移。一方、地政学リスクの長期化や物価高の継続、金利上昇リスクなど、先行きは不透明な状況。

原材料価格については、足元では落ち着いているものの、引き続き高止まりしている。

住宅市場

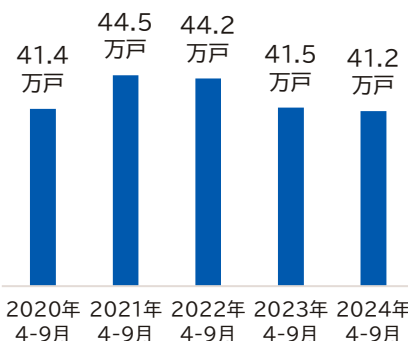
新築市場は戸建、集合ともに弱含みの傾向。また、リフォーム市場も前年を下回る水準で推移。

先行きについて、新築市場では住宅価格の高騰や住宅ローン金利の上昇が懸念材料。

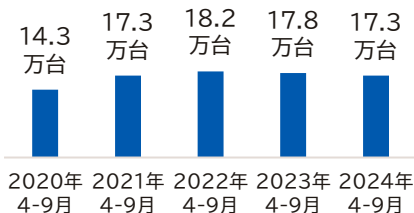
リフォーム市場も同様の懸念がある一方、中古住宅や既存住宅のリノベーション需要は今後も拡大の見込み。

業界の動向

新設住宅着工戸数(国土交通省)

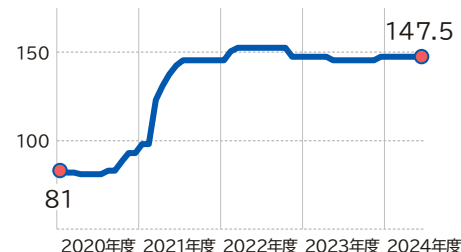


リフォーム市場でのキッチン出荷台数(キッチン・バス工業会)

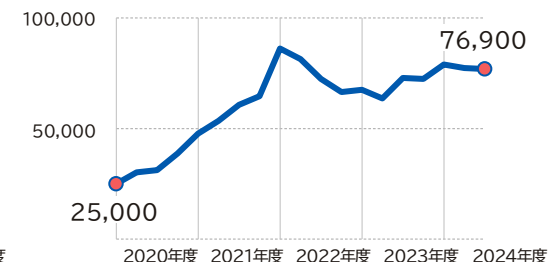


主な資材の市況

冷延鋼板 (円/kg)



ナフサ (円/kl)



2025年3月期 業績予想（期初公表内容から変更なし）

Takara standard

新築市場向けの好調を維持しつつ、リフォーム市場向けでの「商品力の強化」、「提案力の取組み強化」を更に推進。
また、生産性の向上、合理化による収益力の改善をより一層図り、業績予想の達成を目指す。

（単位：億円）

増収増益を計画

売上高:1.9%増
営業利益:16.7%増

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	増減率
売上高	2,347	2,391	+43	+1.9%
営業利益	124	145	+20	+16.7%
営業利益率	5.3%	6.1%	+0.8P	—
経常利益	127	147	+19	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	97	+1	+2.1%

下期の主な取組施策

【リフォーム】 販売台数の回復に向けた各施策を推進。

- ・ボリュームゾーン商品の仕様強化：システムキッチン「トレーシア」、システムバス「グランスパ」（2024年8月）
- ・ユーザーの予算に合わせた最適な提案の推進による受注獲得
- ・リフォーム後の快適な暮らしがイメージできるよう、ショールーム展示内容の見直しを行い提案力を強化

【新築戸建】 更なるシェアの獲得や機能商品の拡販に加え、価格改定効果も継続。

【新築集合】 価格改定効果に加え、高級物件でのキッチン販売推進および近年注力している浴室の拡販。

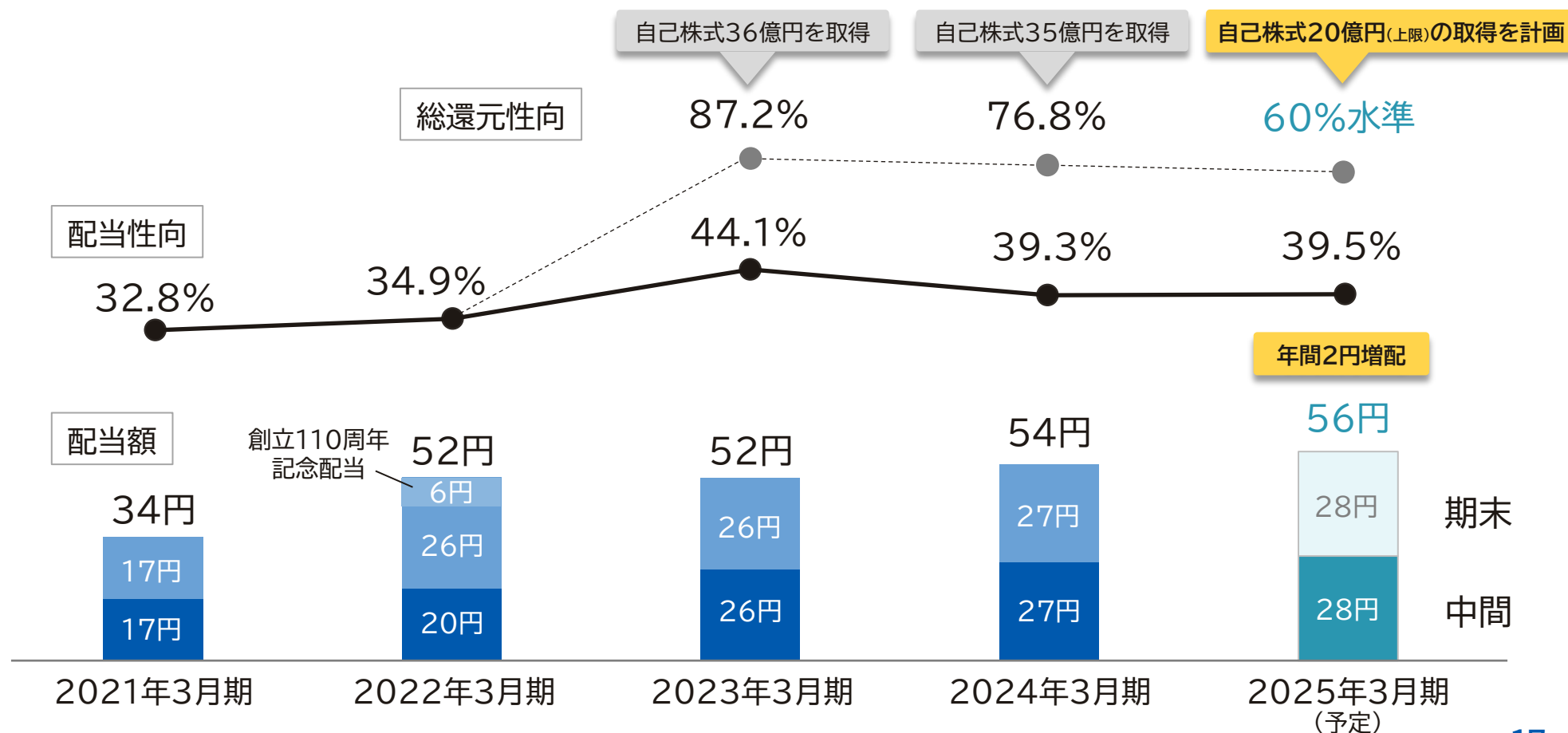
上記に加え、在庫圧縮による物流費削減などの合理化や、コストダウンなどに引き続き取り組み、収益力の改善を図る。

株主還元の状況（期初公表内容から変更なし）

Takara standard

資本効率の向上及び株主還元の充実を目的に、
2025年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

2025年3月期の配当は年間56円（2円増配）を予定。また自己株式取得20億円（上限）も実施予定。



1. 2025年3月期 中間期 決算概要 P. 2 ~ 13

2. 足元の事業環境と今後の見通し P. 15 ~ 17

3. トピックス P. 19 ~ 21

世界唯一のホーローシステムキッチンがインドネシア初上陸 日系キッチンブランド“グローバルトップリーダー”への一歩

インドネシア最大の建材・建築・インテリアの展示会である
「Indo Build Tech Expo(インドビルドテックエキスポ)」に初出展。



インドネシアは人口増加と経済成長に伴い、富裕層が増加し、高級不動産やハイエンドキッチンの需要が高まっています。これに応じ、タカラスタンダードは初めてインドネシアの展示会に出展し、ホーローシステムキッチンと内装材を紹介しました。

ホーローキッチンは清掃性、耐火性、耐久性に優れ、特にインドネシアの気候や調理習慣に適しています。当社は現在、台湾、中国、ベトナムで約11億円を売り上げており、2030年度にはインドとインドネシアを含む5エリアで売上100億円を目指しています。

町田デザイン＆建築専門学校との産学連携授業開始

今後さらに深刻化していくリフォーム業界の人手不足を見越して、当社が加盟している一般社団法人全国リフォーム合同会議が町田デザイン＆建築専門学校と連携し、リフォーム人財を育成する授業を2024年9月よりスタート。



総務省の調査によると、大工職は1985年の約80万人から2020年には約30万人に減少し、特に若手が減少しています。一方、リフォーム市場は成長が期待され、職人の需要が高まっていますが、高校卒業後にリフォームを学べる環境はほとんどありません。

そこで、一般社団法人全国リフォーム合同会議と町田デザイン＆建築専門学校が連携し、リフォーム業界を目指す学生向けのカリキュラムを提供します。当社は研修施設でのシステムキッチン、システムバスの施工実習の授業を担当します。

リフォーム会社や住宅設備機器メーカーが座学や施工実習を担当し、専門士の学位を取得する過程でリフォーム技術を学びます。エンジニア養成も目指し、リフォーム業界全体の発展に貢献することを目指しています。

上期は新設・リニューアル・移転 3カ所を実施

全国47都道府県に約160カ所。お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開。



大阪府 **新設**
南大阪ショールーム
(2024年7月)



埼玉県 **リニューアル**
さいたまショールーム
(2024年9月)



福井県 **移転**
福井ショールーム
(2024年9月)

WEB活用によりショールームへの来場を促進

360°見渡せる バーチャルショールーム



ショールーム 展示品情報



WEB予約システム



「2025年日本国際博覧会」の施設に ホーロー壁装材「エマウォール」が採用

「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」では今後の活躍が期待される若手建築家が「ポップアップステージ」「トイレ」などの施設の設計を担当。当社は各施設にホーロー壁装材「エマウォール」を提供し、サプライヤーとして協賛します。

■ ポップアップステージ(西) 設計:株式会社三井嶺建築設計事務所



完成イメージ

ステージの左右に配置される楽屋と倉庫棟の外装建材として採用

■ トイレ8 設計:合同会社斎藤信吾建築設計事務所



内装イメージ



外観イメージ

トイレの内装としてホーロー内装材「エマウォール インテリアタイプ」を採用

トレンドの北欧インテリアと親和性の高い 「ムーミンとのコラボレーション」

キッチンパネルやホーロー内装材へ展開。年齢層が幅広く、ファンが多いキャラクターを活用し、ブランドイメージや企業認知を向上させ、新規ユーザーの獲得を目指します。



キャラクターを用いた「キッチンパネル」の取り扱いが業界初



大好きなキャラクターがキズつかない、剥がれないというホーローの特徴を通じて、“ホーロー”の独自性・強みをより一層訴求。

サステナブルな素材ホーローによる理想の暮らしを体験 高島屋大阪店「TSUNAGU MARKET」に初出展

高島屋大阪店のサステナブルな暮らしを提案する「TSUNAGU ACTION WEEK」の趣旨に賛同し、大阪のローカルな魅力や日本の文化、個性豊かなアートなどが展示される「TSUNAGU MARKET」に出展いたしました。



「TSUNAGU MARKET」のタカラスタンダードブース

タカラスタンダードは「アートと暮らす」エリアに出展し、独自のホーロー内装材「エマウォール インテリアタイプ」を展示しました。

この展示では、高島屋大阪店で販売されている家具を一部活用し、リビングや子ども部屋、玄関など、さまざまな暮らしのシーンをイメージ。

独自のインクジェット印刷技術を用いた高いデザイン性を持ちながらも、サステナブルな素材である「ホーロー」を通じて、新しいリフォームの形を体感する空間を制作。

※「TSUNAGU MARKET」の展示は現在は終了しています。

< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL

06 - 6962 -1502

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2024年11月6日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。